



## 第92回第3アリアンサ富山村 入植祭

ここ第3アリアンサ富山村は、1927年に富山県から松沢謙二先生を中心に4家族が入植したことが始まりです。原生林が生い茂る荒涼な土地を耕し、日本から遠く離れたこの地に村を築き上げました。それから長い年月が経ち、電気を通すために、アスファルトの道路を建設するためになど、生活の向上に常に尽力し続けたことが、現在の第3アリアンサにつながっています。入植祭では、開拓先駆者を偲び、慰霊法要を行いました。法要後には、敬老会、昼食会、ミニ運動会を行い、多くの人が集いました。



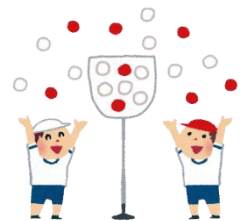
右:富山県海外移住先発隊隊長を務めた松沢謙二先生  
左:学校前に立つ第3アリアンサ入植地移住地点碑



富山県海外移住先発隊  
隊長 松沢謙二

Líder da Primeira Colonização  
da Bairro da 3ª Aliança  
KENJI MATSUZAWA

富山移住地発祥之地  
と刻まれています。



左:玉入れ 中:豆つまみ 右:ゲートボール  
年齢も性別も関係なく、みんなで楽しみました!





# 日本祭 Festival do Japão 2019

世界最大級の日本祭がサンパウロで行われました。3日間で19万人が来場したということで、去年に引き続き大盛況だったようです。昨年はお客として訪れましたが、今年は富山県人会のボランティアとして、料理の補助をさせていただきました。日頃、県人会にお邪魔する機会はないのですが、温かく迎え入れていただき、会館でも会場でも、忙しい中でも楽しくお手伝いすることができました。また、日系人の方だけではなく、富山に研修で行かれた方や留学生、高岡市の学校で働かれた先生にも会うことができ、素晴らしい出会いもありました。



## 編集後記



アリアンサ日伯文化体育協会が作成した『アリアンサ移住地創設八十年』には、このように書かれています。「それまで日本人居住地に使われてきた『植民地』を使わず、『移住地』とすることを決めている。日本の植民地ではなく、永住を目的とした移住者自身の村であることを表明するためである。」また、「アリアンサ移住地の建設は単なる移住地造りではなく、理想を掲げた移住運動の本拠地造りである」とも書かれています。日本側から見たとき、ブラジル移住史の中でアリアンサは特別なものだと考えられています。これには様々な要因があるので、ここでは書けませんが、それだけ移住の歴史がある場所と富山県に昔から強い結びつきがあったことは確かです。そして、日本語学校に富山県から教師を派遣するようになってから、今年で41年目です。私は、その中の一人として、第3アリアンサと富山の歴史のつながりの中で、様々なことを学び、体験させていただいています。私自身も、第3アリアンサや海外移住、そして日系人について知識がありませんでした。今もまだまだ知識は足りませんが、地球の裏側に日本社会が残り続けていることを多くの人に知ってもらいたいです。

